

Matchume Nzango — *timbila*

松谷 萌江 — *violin*

井上 葵 — *violin*

立石 さくら — *viola*

半澤 朝彦 — *cello*

明治学院コンサートシリーズ 第121回 《アフリカの木琴と》

2023年11月24日(金)

17:30 開場 18:00 開演



ヴィヴァルディ／協奏曲 Op.3-6
ティンビラ 独奏セッション
ヴォルフ／「イタリアン・セレナーデ」
ティンビラと弦の共演（ジブリほか）
ピアソラ／「リベルタンゴ」

予約不要・無料・一般公開

JSPS KAKENHI Grant Number 22K12535 協力：NPO法人FENICS

JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE

日本学術振興会



FENICS

Fieldworker's Experimental Network
for Interdisciplinary CommunicationS

第121回 《アフリカの木琴と》

ティンビラは、東～中央・西アフリカで愛奏される木琴の一種で、色彩豊かな響きと澄んだ、軽みのあるリズムが魅力です。本場モザンビークから世界的名手をお招きし、ソロやお話、世界でも珍しい西洋弦楽器とのコラボレーションを行います。音響抜群で、ゆったりした白金アートホールで新しい響きを。

明治学院コンサートシリーズ

Matchume Nzango マチュメ・ザンゴ (timbila)

モザンビーク伝統音楽、実験音楽、フュージョンの演奏家・作曲家。アートダイレクターを務める Timbila Mzimba は 1999 年の南部アフリカ地域 Music Crossroads Inter-Regional Festival でグランプリ獲得。ソロとしての音楽パフォーマンス、演劇、ダンス、映画ジャンルで各国アーティストとの共演は世界 38 カ国におよぶ。ポルト大学（ポルトガル）、バイロイト大学（ドイツ）、ケープタウン大学音楽院（南アフリカ）などで講師を務め、2022 年にはケープタウン大学音楽院で音楽学修士号取得。

松谷 萌江 まつたに・もえ (violin)

東京音楽大学卒業。磯部夕佳里、松宮麻希子、松原勝也、景山誠治、齋藤真知亜の各氏に師事。室内楽を齋藤真知亜、百武由紀、山口裕之、横山俊朗の各氏に師事。認定 NPO 法人 トリトン・アーツ・ネットワーク「2018 年度アウトリーチセミナー」修了。現在、洗足学園音楽大学演奏補助要員、音楽教室等の講師の他、室内楽やオーケストラなどを中心に演奏活動を展開。

井上 葵 いのうえ・あおい (violin)

国立音楽大学附属高等学校を経て桐朋学園大学音楽学部卒業。第 4 回全日本芸術コンクール第 2 位。ウィーン国立音楽大学マスタークラスを全額助成で Roswitha Randacher 氏に師事。守田マヤ、吉野薫、豊田弓乃の各氏に師事。室内楽を藤原浜雄、景山誠治、篠崎功子、伊藤亮太郎、日比浩一の各氏に師事。洗足学園大学演奏補助員。

立石 さくら たていし・さくら (viola)

東京藝術大学音楽学部卒業。同大学修士三年在学。京都フランスアカデミーにて、ブルーノ・パスキエ氏のマスタークラスを受講など。第 18 回日本演奏家コンクールで特別賞を受賞。ヴァイオリンを徳永二男、菊池愛、ヴィオラを大野かおる、川崎和憲の各氏に師事。室内楽を澤和樹、松原勝也、市坪俊彦、山崎伸子、大友肇の各氏に師事。

半澤 朝彦 はんざわ・あさひこ (cello)

霧島国際音楽祭、京都フランス音楽アカデミーほかにおいて、堤剛（桐朋学園大学）、F.ミュレール（パリ国立音楽院）、H.シャピロ（ジュリアード音楽院）、G.ホーシュ（コンサートヘボウ管首席）氏らのマスタークラスで演奏。クライスト・チャーチ祝祭交響楽団首席奏者を務めた。2010 年英国 Trinity-Guildhall 音楽院ディプロマで同音楽院生相当の成績。本学国際学部教授（国際関係史、政治と音楽）、本シリーズをプロデュース。チェロを G.トゥリエール、毛利伯郎、J.ウォードクラークの各氏らに師事。

明治学院白金アートホールへの行き方:

JR品川駅高輪口より都営バス「目黒駅」行、または JR 目黒駅より「大井競馬場」行きに乗り「明治学院前」下車。または、地下鉄南北線の白金高輪、白金台、浅草線の高輪台からいずれも徒歩10分。ホールはキャンパス内、東門に近いガラス張り建築の「パレットゾーン」2階奥。

※本シリーズのこれまでの演奏会、今後の予定は、明治学院大学、国際学部HP（イベントの項）で常時ご覧になれます。